

## 社会貢献活動

### 次世代への教育

#### 小学生を対象とした施設見学と体験講座を開催 ～美浦研究所

美浦研究所は、土木の日(11月18日)の行事として、「来て、見て、体験!」をコンセプトに茨城県美浦村の小学生を対象とした体験学習イベントを開催しました。当社職員が講師を務め、子どもたちと一緒にセメント素材の人形や建物の耐震性を紙工作で体験できる「紙ぶるる」の作成などを行いました。人形づくりでは参加した子どもたちから歓声があがりました。またコンクリートについてもっと知りたいとの声もあがったことから、当研究所や建設業が果たす社会的役割を地域の方々に理解していただくという当イベントの目的を達成できたと考えています。今後も建設技術への興味・関心を持ってもらえるような講座を積極的に開催していくことで、建設業の魅力を次世代に伝えていきます。



コンクリートの実験に興味津々

#### 学生向け現場見学会・意見交換会に協力～北陸支店

北陸支店は、国土交通省北陸地方整備局が主催する地元大学生を対象とした現場見学会と意見交換会に協力し、建設業の重要性の啓蒙に努めました。当社の施工現場では、鋼管矢板の打設中であり、普段見ることのできない海の現場の迫力を実感してもらいました。また、意見交換会では若手職員から海上工事の醍醐味ややりがいを聞くことで、建設業をより身近に感じてもらうことができました。参加した学生からは、今後の就職活動に役立てることができたとの声が多く、海上土木工事への理解を深めてもらうことができたと考えています。今後も、現場見学会などを通じて建設業をPRし、次世代の担い手確保に努めていきます。



現場見学会の様子

#### インターンシップ生の積極的な受け入れ～全国各地

当社は、現在学んでいることが実際の仕事にどのように役立つか、また建設会社の仕事とはどのようなことをしているかを学生に理解していただくため、全国でインターンシップ生を積極的に受け入れています。2017年度は京都大学、神戸大学などの学生が当社の施工現場などで実際の建設業の仕事を体験しました。また、当社は日本のみならず海外でのインターンシップ生の受け入れも行っており、カンボジアの現場では海外でのプロジェクトマネジメント全般や、ODA(政府開発援助)について学びました。この経験が今後の学業に活かされることを期待するとともに、建設会社で働くことの面白さややりがいを教えることができたのではと考えています。



海外でのインターンシップ

### 地域との共生

#### 天然鮎増殖事業への参加～大阪本店

大阪本店は、紀ノ川漁業協同組合が主催する天然鮎増殖事業に賛同し、自然産卵、孵化を推進させるための親鮎放流作業に参加しました。和歌山県は、良質な鮎が釣れることでも有名であり、当社も微力ながら天然鮎増殖に貢献することができました。

#### 花火大会イベントで地域住民との交流・ 工事内容をPR～中国支店

中国支店は、島根県隠岐島の西郷港で開催された花火大会イベント「LIGHT UP OKI」の運営に協力し、地域住民との交流を図りました。このイベントに合わせ、当社は隠岐島の沖合で行っている魚礁据付工事の概要を記載したうちわを製作し、イベント来訪者に配布しました。水産資源の回復を目的とする当該事業を地元の方々にPRすることで、事業の重要性についてご理解いただけたと考えています。



工事概要が書かれたパネルを見てくださいる人も

### 環境への貢献

#### 小学校でアマモ場造成体験授業を開催～九州支店

当社は毎年、福岡市港湾局と合同で福岡市東区の奈多小学校でのアマモ場造成体験授業を開催しています。この活動は2011年10月より開始し、2017年度は6月、10月、11月の全3回にわたり博多湾和白干潟海域で魚介類の産卵場所や生息地となるアマモ場再生に取り組みました。体験授業では、アマモポットでのアマモ育成や全長5mのアマモシートの作成を通して、アマモ場と海の環境との関わりについて学びました。今後も地元の小学生にアマモ場の重要性を学ぶ場を提供し、地元海域環境への興味を深めてもらえるようにしていきたいと考えています。



アマモシートを作成する子どもたち

#### 障がい者や高齢者雇用を促進する活動 「エコキャップ運動」を実施～大阪本店

大阪本店では、2011年よりNPO法人エコキャップ推進協会主催のエコキャップ運動に取り組んでいます。エコキャップ運動はCO<sub>2</sub>の削減や売却益で発展途上国の医療を支援することに加えて、リサイクルの過程で障がい者・高齢者雇用を促進する活動です。2017年度は個数6,450個、重さで換算すると15kgのキャップ収集をし、CO<sub>2</sub>の発生量を約47kg削減しました。小さなことではありますが、その積み重ねが環境問題や雇用創出改善につながると考え、これからも活動を続けていくことにしています。

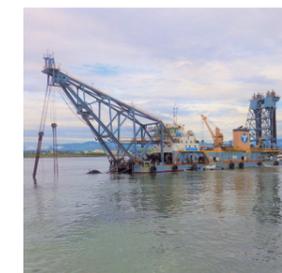


ダンボールいっぱい集まったキャップ

#### 国内初！大型ポンプ浚渫船のエンジンを 環境対応型に換装～本社・機械部

当社は、2016年3月から2018年3月にかけて大型ポンプ浚渫船「筑波丸」のエンジンを、最新の環境対応型に換装しました。新しいエンジンはIMO 2次規制<sup>\*</sup>をクリアしており、圧縮比、バルブタイミング、高圧力過給機、燃料噴射時期などを最適化したもので、排出ガスに含まれるNO<sub>x</sub>(窒素酸化物)が大幅に削減されています。また、従来に比べて燃料消費率が減り、軽量、小型となっているため、地球環境負荷の低減に貢献できると期待しています。

<sup>\*</sup>IMO 2次規制：IMO(国際海事機関)が定めたディーゼルエンジンのNO<sub>x</sub>排出量で国際規格にもなっている。



大型ポンプ浚渫船「筑波丸」



最新型エンジン